

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり） 箕面市立障害者福祉センター（ささゆり園）
指定管理者名	社会福祉法人あかつき福祉会
開催日	令和 7 年（ 2 0 2 5 年）1 月 2 7 日（月）
開催場所	箕面市立総合保健福祉センター 1 階 調整委員会室
合議の出席者	箕面手をつなぐ親の会 名 淵 須和子氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 伊藤 久仁子氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 副座長 羽藤 隆氏

【概要】別添のとおり

内容	令和 7 年 1 月 2 7 日（月）に箕面市立総合保健福祉センター 1 階調整委員会室にて、指定管理者の合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。 （障害福祉室の説明：「市」、指定管理者の説明：「指」） 1）箕面市立障害者福祉センターささゆり園について ・団体のイベントなどの際、ささゆり園の駐車場に停められないことがある。公的に市役所の駐車場を使って良いとできないか。 市）市としては、市役所の駐車場を市役所利用以外の目的で、使って良いとは言えない。他の公共施設と同様に、皆さんでご協力しあって混雑時は公共交通機関や民間の駐車場を利用してもらいたい。 ・敷地南側を駐車場にという話も合ったと思うが、どうなったか。 市）南側は生活介護の利用者が使用することもあり、市としては生活介護の利用者の利用を優先したい。 ・日曜日が月 2 回しか使えず、春先や各団体のイベントがバッティングすることもあるが、利用率は 5 割程度なので驚いた。 ・利用の予約がないときは夜間は閉まっているので、夜もロビー等を自由に使えるように開放して欲しい。 ・情報コーナーも IT の進化などもあるので何か工夫できれば良い。 ・利用者アンケートは紙が主体だが、登録団体なのでメールでも対応できないか。 市）他の指定管理施設にも確認しながら検討する。 ・生活介護の看護師配置が 4 人に増えているのか。看護師はどのような仕事をしているのか。 指）令和 3 年度から 3 名、令和 6 年度から 4 名に増えている。 介護職は各痰吸引など限られた範囲の業務を行い、看護師は介護職にはできない医療的な業務を行ってもらっている。
-----------	--

2) 箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり）について

- ・ p.19 と p47 の給食時の異物混入の具体的な内容を教えてほしい。

指) 異物混入はほとんどが髪の毛であり、原因は配膳や調理時、食事介護中も考えられる。調理員は帽子をかぶっているが、調理室の入室時の髪の毛の排除ができていたか等の確認を都度行っている。

- ・ 生活介護の定員 70 名に対して現在利用者が 60 名になっているのはなぜか。

指) あかつき園の再整備工事が始まるため、新規利用者への広報を広くは行っていない。

- ・ 就労継続支援 B 型の製袋作業は利用者にとって難易度は高いか。個々に適切な椅子の提供などによって負担の軽減はできないか。

指) 折り方が変わってから難易度は高い様子。ベテランの利用者でも複雑と感じている。

また、立って作業をしたい、短時間で休憩を取りたい等の様々な状況があり、短時間で休憩を挟んでいる。個々に高い椅子や座った状態での作業ができるよう工夫している。

- ・ p6 のコンクリートの劣化に関する設備修理は市が行うものではないか。
また、p6～8 の設備の不適合箇所とはなにか。

指) 10 万円以下の工事は法人が行うよう協定書で取り決めている。

また、法的な不適合箇所は都度修繕している。法的に問題はないが修繕を推奨されるものは、金額が高いものは計画的に、安いものは順次修繕を行っている。

- ・ アンケートでは利用者本人に聞いても「分からない」と回答される場合がある。そういった場合は親と一緒に書くこともあるが、最近の施設の様子を見ることがないため、親も「分からない」と回答しがちになっている。

指) 令和元年度から見学を開始したが、コロナウィルスの感染拡大で中止していた。現在は懇談時に見学できるよう努力している。

様式 1 1

3) 総評

合議メンバーからは、総評として次の意見が出されましたので、市として設備の課題は感じるが、温かみのあるコミュニケーションが豊富であり、運営を含めた現在のサービスは好評を得ているとも評価します。

- ・総合的に問題はない。
- ・障害者をよく理解しており、温かみのあるコミュニケーションが豊富。保護者も安心して預けることができると聞く。
- ・限られた条件の中で十分に能力を発揮している。それ故に、これ以上望む場合は市との対応を協議することが増えると思われる。設備面では状況に追いつけていない部分を感じる。